

第 51 期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修報告書

広島市立大学 国際学部 3 年 横山琉夏

2025 年 7 月

México Mágico

8 月 1 日に帰国し、一週間が経ちました。日本はとても蒸し暑く、メキシコの湿度のないあの空気がとても恋しいです。ですが、1 年間会えていなかった家族、親戚、友達に会い、ずっと食べたかった日本食をたくさん食べ、久しぶりの日本を満喫しています。

今回で、最後のレポートということで少し寂しい気持ちもありますが、メキシコでの生活を思い出しながら、1 ヶ月休みだった 7 月の生活についてお届けしていきます。

DELE について

7 月上旬に、スペイン語の国際資格試験である DELE を受験しました。DELE はスペイン政府が認定する公式のスペイン語能力試験で、A1 から C2 までのレベルに分かれており、いわば英語の TOEIC や TOEFL に相当するものです。私は初めての受験だったため、B1 を選びました。受験料は 3,403 ペソ（約 26,000 円）で、日本で受験するよりも 1 万円ほど高額でした。しかし、現地で受験する方がオーラル試験（口頭試験）の負担が軽く、実際の会話環境に近い状況で受けられるという利点があると聞いたので、帰国後ではなくメキシコでの受験を選択しました。

実際のオーラル試験は、担当者とのラフな会話から始まりました。私が「緊張している」と伝え、「大丈夫、普段メキシコ人の友達と話しているときと同じように話せばいいよ。はい、今から私たちは友達だからね。」と声をかけてもらい、一気に緊張がほぐれました。そのおかげもあり、試験本番もリラックスして臨むことができ、むしろ楽しみながら受験できました。

結果が出るのは約 3 か月後とのことで、まだ確認はできていませんが、無事に合格していることを願っています。



sushi mexicano

ずっと食べてみたかったけど、挑戦できていなかった sushi mexicano を食べました。マンゴーで巻かれている巻き寿司が想像以上においしくて驚きました。

Guelaguetza (ゲラゲツァ)

7月中旬、オアハカで「ゲラゲツァ」という祭りが開催されるということで、4泊5日で訪れました。オアハカには多くの日墨生がすでに行っており、皆が口をそろえて「本当に良かった」と言っていたので、私もとても楽しみにしていました。また、この時期は観光客が集中するため、ホテルがすぐ満室になると聞いており、3月頃に予約を済ませていたので、ようやくこの日が来た、という思いでした。

この「ゲラゲツァ」は、オアハカ州に伝わる先住民文化を祝う伝統的な祭典で、州内のさまざまな地域から民族舞踊や音楽が披露される大規模なお祭りです。衣装や踊り、音楽を通して多様な文化が一堂に会する姿は壮観で、メキシコでも特に有名な祭りの一つとされています。

ゲラゲツァには有料席と無料席があり、午前10時開演の公演の無料席に座するためには早朝から並ばなければならないという情報を得ていたため、私たちは夜中の3時から並びました。しかし、その時点ですでに多くの人が列を作っており、とても驚きました。

当初は、並んでいる人に整理券が配られるか、開演の1時間ほど前に入場が始まるのだろうと想像していました。ところが、実際には朝5時頃に係員が現れ、私たちはそのまま会場内へ案内されました。開演の5時間前に入場が始まったことに、思わず驚きを隠せませんでした。また、こんなに早く入場できるとは思っていなかったため、朝食用に持っていた食べ物や飲み物はすべて入場前に没収されてしまいました。これから訪れる方は、必ず入場前に済ませておくことを強くおすすめします。そして、並ぶ人の数や開場時間、整理券の有無などは年によって異なるようです。そのため、私の体験談や過去の情報だけをうのみにせず、実際に行く際は最新の情報を必ず確認するようにしてください。



左の写真は Tlayuda (トラジュエダ)
と呼ばれるオアハカの郷土料理

左から3番目の写真
Tlacolula (トラコルーラ) のティアンギス

おわりに

1年間のメキシコでの生活を無事に終え、ほっとした気持ちと同時に名残惜しさも感じています。日本から遠く離れた地での生活は、最初こそ不安もありましたが、ホストファミリーやメキシコ人の友人、大使館の方々、広島県人会会長のビクトルさん、CEPEの先生方、そして日墨生の仲間など、多くの人に助けられ、支えられながら最大限楽しむことができました。今回が2度目のメキシコ滞在でしたが、大学生という立場で訪れたことで新たな発見が多くあり、さらにメキシコを好きになるきっかけとなりました。メキシコの持つたくさんの魅力を実際に体感すると同時に、日本の良さにも改めて気づくことができ、とても濃い1年間になりました。

また、この1年間は少しでもメキシコに関心を持つ人が増えることを願い、日々の生活をインスタグラムのストーリーで頻繁に発信してきました。その結果、最近になって高校時代の友人から、私の投稿を見て、今年の死者の日にメキシコへ行くことに決めた、という連絡をもらいました。出発前に思い描いていた「今の自分なら少しは人に影響を与えられるのではないか」という考えが形となり、非常に嬉しく思いました。

これからもこの1年間の経験を活かし、少しずつではありますが、メキシコと日本をつなぐ活動を続けていきたいです。



7月の México Mágico

オアハカでパレードが行われていた際に撮った写真です。

少し狭い道でパレードが行われていたので、人であふれかえっていたのですが、人の家の柵にのぼってパレードを見ている人たちがいて、メキシコならではのと思いました。